



## 2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月15日

上場会社名 株式会社幸和製作所 上場取引所 東  
 コード番号 7807 URL <https://kowa-seisakusho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 秀明  
 問合せ先責任者 (役職名) 統括部長 (氏名) 山川 晋 TEL 072 (238) 0605  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社ホームページ）  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	1,518	20.8	220	359.2	214	267.4	143	414.5
2021年2月期第1四半期	1,257	△30.2	47	△49.1	58	△60.1	27	△81.1

（注）包括利益 2022年2月期第1四半期 204百万円（502.6％） 2021年2月期第1四半期 34百万円（△72.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	32.97	32.55
2021年2月期第1四半期	6.50	6.25

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	4,833	1,392	28.0	310.82
2021年2月期	5,084	1,227	23.4	273.36

（参考）自己資本 2022年2月期第1四半期 1,352百万円 2021年2月期 1,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	6.00	—	6.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,709	2.9	172	6.8	151	△20.1	122	△18.8	28.28
通期	5,249	0.7	271	△26.5	236	△39.2	177	△54.4	41.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	4,350,990株	2021年2月期	4,343,250株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	66株	2021年2月期	66株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	4,348,466株	2021年2月期1Q	4,284,738株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として確約する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料については、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一時持ち直しの動きも見られたものの、新型コロナウイルス変異株の流行等を背景として、首都圏、関西圏を中心に感染者数の急増がみられ、3回目の緊急事態宣言が発出されるなど、依然として先行き不透明な厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お取引先様、当社従業員・役員とご家族の安全確保と感染拡大防止を最優先に考え、出張の制限やWebを利用した営業活動等、感染防止と事業の継続を両立させるべく対応を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大による緊急事態宣言発出の影響がチェーンストアルートの一部に見られたものの、当社の主力商材である歩行車が生活必需品として認知され、外出自粛が要請されている中でも堅調に推移いたしました。また、介護ルートにおいて2020年11月に発売した歩行車「シトレア」の受注が好調に推移した結果、15億18百万円（前年同期比20.8%増）となり、返品調整引当金控除後の売上総利益は、7億41百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、運賃をはじめとする物流費高騰の影響があったものの、前年度より引き続き固定費抑制を推進した結果、5億21百万円（前年同期比10.7%減）となり、その結果、営業利益は2億20百万円（前年同期比359.2%増）となりました。また、営業外収益として新型コロナウイルス感染症にともなう特例措置による雇用調整助成金制度を利用した補助金収入7百万円、デリバティブ評価益15百万円等、営業外費用として支払利息7百万円および為替差損22百万円等を計上した結果、経常利益は2億14百万円（前年同期比267.4%増）となりました。また、特別利益として株式会社幸和ライフゼーションのデイサービス事業を吸収分割により株式会社ポラリスに承継したことにともなう事業譲渡益29百万円等を計上した結果、税金等調整前四半期純利益は2億44百万円（前年同期比317.3%増）となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等1億円等を計上したことにより1億43百万円（前年同期比414.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度末より、報告セグメントの区分を変更しております。前第3四半期連結累計期間まで「その他」に含めておりましたEC事業の重要性が増したため、独立表記としております。このため、前年同期比較の金額および増減率につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①介護用品・福祉用具製造販売事業

介護用品・福祉用具製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症再拡大による外出自粛要請等による影響がチェーンストアルートの一部に見られたものの、介護ルートは堅調に推移し13億16百万円（前年同期比38.9%増）となりました。セグメント利益は2億49百万円（前年同期比174.3%増）となりました。

#### ②介護サービス事業

介護サービス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が一部に見られたことに加え、2021年1月1日付けでデイサービス事業の売却・譲渡を行ったことから55百万円（前年同期比70.2%減）、セグメント利益は8百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

#### ③EC事業

EC事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、緊急事態宣言や外出自粛要請にともなう「巣ごもり需要」による生活必需品のネット通販需要拡大を背景に、当社のEC事業による車いす・シルバーカー等の販売も堅調に推移いたしました。その結果、1億46百万円（前年同期比19.2%増）、セグメント利益は4百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して2億9百万円減少し、30億59百万円となりました。これは主に、現金及び預金5億66百万円等の減少要因が、受取手形及び売掛金1億60百万円、商品及び製品1億10百万円等の増加要因を上回ったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して40百万円減少し、17億73百万円となりました。これは主に、無形固定資産に含まれるリース資産7百万円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産14百万円等の減少によるものであります。

(負債および純資産の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億26百万円増加し、16億97百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金2億47百万円、未払法人税等51百万円等の増加要因が、1年内返済予定の長期借入金79百万円、未払金41百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して5億42百万円減少し、17億43百万円となりました。これは主に、返済による長期借入金5億46百万円の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億65百万円増加し、13億92百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1億43百万円、為替換算調整勘定44百万円等の計上により利益剰余金等が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、緊急事態宣言が再度発出されるなど、業績への影響が不透明なことから、業績予想は据え置くことといたしました。従いまして、2021年4月14日にて公表いたしました連結業績予想の変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期など、様々な要因により変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,833,876	1,267,536
受取手形及び売掛金	754,150	915,083
商品及び製品	499,333	609,489
仕掛品	53,878	35,493
原材料及び貯蔵品	50,857	96,297
その他	78,503	137,310
貸倒引当金	△898	△1,280
流動資産合計	3,269,701	3,059,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	328,011	323,972
機械装置及び運搬具(純額)	5,766	5,585
土地	641,388	641,388
リース資産(純額)	3,475	6,406
使用権資産(純額)	458,331	464,907
その他(純額)	101,881	96,043
有形固定資産合計	1,538,855	1,538,304
無形固定資産		
リース資産	27,633	20,623
のれん	51,984	47,652
その他	54,380	49,307
無形固定資産合計	133,998	117,583
投資その他の資産		
投資有価証券	8,879	8,521
繰延税金資産	92,367	78,240
その他	40,298	30,887
投資その他の資産合計	141,545	117,649
固定資産合計	1,814,399	1,773,537
資産合計	5,084,100	4,833,466

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	486,397	733,823
1年内返済予定の長期借入金	413,272	333,716
リース債務	106,352	104,264
未払金	379,713	337,992
未払法人税等	42,922	94,372
賞与引当金	39,103	19,508
返品調整引当金	4,479	5,610
資産除去債務	2,367	—
その他	96,713	68,098
流動負債合計	1,571,321	1,697,386
固定負債		
長期借入金	1,828,099	1,281,216
リース債務	425,883	430,130
資産除去債務	5,650	5,650
退職給付に係る負債	9,871	9,891
その他	16,107	16,228
固定負債合計	2,285,612	1,743,117
負債合計	3,856,933	3,440,504
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	573,245	575,374
資本剰余金	499,616	501,744
利益剰余金	154,115	254,043
自己株式	△95	△95
株主資本合計	1,226,882	1,331,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,026	674
繰延ヘッジ損益	—	17,059
為替換算調整勘定	△40,635	3,533
その他の包括利益累計額合計	△39,608	21,267
非支配株主持分	39,893	40,628
純資産合計	1,227,166	1,392,962
負債純資産合計	5,084,100	4,833,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	1,257,153	1,518,263
売上原価	653,439	775,144
売上総利益	603,714	743,118
返品調整引当金戻入額	33,046	4,479
返品調整引当金繰入額	4,859	5,610
差引売上総利益	631,901	741,987
販売費及び一般管理費	583,903	521,569
営業利益	47,997	220,418
営業外収益		
受取利息	427	194
受取手数料	1,234	253
為替差益	4,676	—
デリバティブ評価益	—	15,016
補助金収入	18,911	7,095
受取保険金	—	367
貸貸収入	5,047	8,269
その他	3,828	1,713
営業外収益合計	34,126	32,910
営業外費用		
支払利息	10,682	7,642
売上割引	3,036	3,871
デリバティブ評価損	6,361	—
為替差損	—	22,531
貸貸費用	—	4,222
その他	3,542	150
営業外費用合計	23,623	38,418
経常利益	58,501	214,910
特別利益		
固定資産売却益	36	118
事業譲渡益	—	29,119
特別利益合計	36	29,237
特別損失		
固定資産除却損	33	0
特別損失合計	33	0
税金等調整前四半期純利益	58,503	244,148
法人税等	28,758	100,053
四半期純利益	29,744	144,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,879	735
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,865	143,359

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	29,744	144,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△352
繰延ヘッジ損益	△9,523	17,059
為替換算調整勘定	13,773	44,169
その他の包括利益合計	4,271	60,876
四半期包括利益	34,016	204,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,136	204,235
非支配株主に係る四半期包括利益	1,879	735

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額(注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注)2
	介護用品・福祉用具製造販売事業	介護サービス事業	EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	947,840	186,205	123,107	1,257,153	—	1,257,153
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,840	—	—	29,840	△29,840	—
計	977,680	186,205	123,107	1,286,994	△29,840	1,257,153
セグメント利益又は損失(△)	90,934	△758	3,955	94,132	△46,135	47,997

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△46,135千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△46,891千円およびその他の調整額756千円が含まれております。

なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額(注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注)2
	介護用品・福祉用具製造販売事業	介護サービス事業	EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,316,034	55,509	146,720	1,518,263	—	1,518,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	47,386	—	—	47,386	△47,386	—
計	1,363,421	55,509	146,720	1,565,650	△47,386	1,518,263
セグメント利益	249,431	8,185	4,033	261,650	△41,232	220,418

(注) 1. セグメント利益の調整額△41,232千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△34,881千円およびその他の調整額△6,351千円が含まれております。

なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する注記

前連結会計年度より、これまで「その他」に含めておりました「EC事業」の金額的重要性増したため、独立した報告セグメントとして扱うことといたしました。

これにより、当社グループの報告セグメントは、「介護用品・福祉用具製造販売事業」、「介護サービス事業」、「EC事業」3区分に変更しており、前第1四半期連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。